

平成 24 年度 大栄経理学院

第 131 回日商簿記検定試験 模範解答

1 級 ①

商 業 簿 記

問 1

(単位：千円)

a	<input type="radio"/>	40,000	d	<input type="radio"/>	88,500
b	<input type="radio"/>	18,000	e	<input type="radio"/>	3,000
c	<input type="radio"/>	52,500			

問 2

連 結 貸 借 対 照 表

X2 年度末

(単位：千円)

現 金 預 金 (48,600)	仕 入 債 務 (<input type="radio"/>	16,860)
売 上 債 権 (<input checked="" type="radio"/>	41,170)	借 入 金 (62,700)
棚 卸 資 産 (<input checked="" type="radio"/>	33,500)	資 本 金 (<input type="radio"/>	120,000)
有 形 固 定 資 産 (194,500)	資 本 剰 余 金 (30,000)
の れ ん (<input checked="" type="radio"/>	6,570)	利 益 剰 余 金 (<input type="radio"/>	95,696)
そ の 他 有 価 証 券 (44,000)	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金 (<input type="radio"/>	3,000)
		(為 替 換 算 調 整 勘 定) (<input type="radio"/>	3,600)
		(少 数 株 主 持 分) (<input checked="" type="radio"/>	36,484)
	(368,340)		(368,340)

問 3

<input checked="" type="radio"/>	5,600	千円
----------------------------------	-------	----

(◎印 1 つ 3 点、○印 1 つ 1 点、計 25 点)

平成 24 年度 大栄経理学院

第 131 回日商簿記検定試験 模範解答

1 級 ②

会 計 学

問 1

1	正規の簿記
2	投資その他の資産
3	間接法
4	持分
5	振当

(各 1 点、合計 5 点)

問 2

	区 分 法	一 括 法
社債発行時社債計上額	[1] ◎ 194,000 千円	[2] ○ 200,000 千円
1.における 社債利息計上額	[3] ◎ 3,200 千円	[4] ○ 2,000 千円
2.における 株式への転換請求により 生じる資本組入額	[5] ◎ 60,720 千円	[6] ◎ 60,000 千円
3.における 社債償還に伴う 新株予約権戻入益	[7] ○ 2,400 千円	
3.における 社債償還に伴う社債償還額		[8] ○ 80,000 千円
4.における 自己株式処分差額	[9] ◎ 22,400 千円	
自己株式処分差額の 貸借対照表上の最も 適切な記載区分	[10] ○ その他資本剰余金	

(◎印各 2 点、○印各 1 点、合計 15 点)

問 3

設 問	
1	B 社の純資産と収益還元価値の平均額 248,600 千円
2	A 社の 1 株当たり企業評価額 153 円
3	A 社株式の 1 株当たりの B 社株式交換比率 0.81 株
4	A 社の新株発行に伴う資本金の増加額 259,200 千円
5	「のれん」計上額 33,200 千円

(各 1 点、合計 5 点)

平成 24 年度 大栄経理学院

第 131 回日商簿記検定試験 模範解答

1 級 ③

工業簿記

問 1

ケース B	ケース C
4,968,000 円	4,653,500 円

(各 2 点、合計 4 点)

問 2

仕 掛 品			(単位：円)
直接材料費	13,938,350	製 品 (◎ 29,272,400)	
直接労務費 (◎ 6,237,000)		月末仕掛品 (◎ 457,950)	
製造間接費 (◎ 9,555,000)			
(29,730,350)		(29,730,350)	

(◎印各 2 点、合計 8 点)

問 3

製品 A	製品 B	製品 C
8,954,070 円	9,338,750 円	12,434,780 円

(各 2 点、合計 6 点)

問 4

591,550 円

(2 点、合計 2 点)

問 5

21,000 円

(2 点、合計 2 点)

問 6

1,421,000 円	(増加 減少) する
-------------	--------------

増加 減少のいずれか該当するほうを○で囲むこと。

(両方正解で 3 点、合計 3 点)

平成 24 年度 大栄経理学院

第 131 回日商簿記検定試験 模範解答

1 級 ④

原 価 計 算

①	3,554	千円	◎
②	30,456	千円	◎
③	貢献利益率		} ◎
④	高い		
⑤	60	円	◎
⑥	市場総需要量		○
⑦	9,500	個	◎
⑧	市場総需要量差異		○
⑨	3,277.5	千円	◎
⑩	市場占有率		○
⑪	市場占有率差異		○
⑫	3,415.5	千円	◎
⑬	1,206	千円	◎
⑭	1,800	千円	◎
⑮	売上高営業利益率		○
⑯	経営レバレッジ係数		◎

(◎印各 2 点、○印各 1 点、合計 25 点)

〔1 級解説〕

〈商業簿記〉（仕訳の単位：千円）

1. 資料 I に関して

(1) 投資と資本の相殺消去

① 土地の評価替え

（有 形 固 定 資 産）	10,000	（ 評 価 差 額 ）	10,000
---------------	--------	-------------	--------

② 投資と資本の相殺消去

（資本金当期首残高）	30,000	（A 社 株 式）	40,000 ^{*1}
（資本剰余金当期首残高）	10,000	（少数株主持分当期首残高）	24,400 ^{*2}
（利益剰余金当期首残高）	11,000		
（ 評 価 差 額 ）	10,000		
（ の れ ん ）	3,400 ^{*3}		

*1 問題文より

*2 $(30,000 \text{ 千円} + 10,000 \text{ 千円} + 11,000 \text{ 千円} + 10,000 \text{ 千円}) \times 40\% = 24,400 \text{ 千円}$ *3 $40,000 \text{ 千円} - (30,000 \text{ 千円} + 10,000 \text{ 千円} + 11,000 \text{ 千円} + 10,000 \text{ 千円}) \times 60\% = 3,400 \text{ 千円}$

(2) 当期の仕訳

①(a) 配当金の処理

（少数株主持分当期変動額）	800 ^{*1}	（ 剰 余 金 の 配 当 ）	2,000
（ 受 取 配 当 金 ）	1,200 ^{*2}		

*1 $2,000 \text{ 千円} \times 40\% = 800 \text{ 千円}$ *2 $2,000 \text{ 千円} \times 60\% = 1,200 \text{ 千円}$

(b) 当期純利益の少数株主持分への振り替え

（ 少 数 株 主 損 益 ）	2,000	（少数株主持分当期変動額）	2,000 [*]
-----------------	-------	---------------	--------------------

* $\{14,000 \text{ 千円} - (11,000 \text{ 千円} - 2,000 \text{ 千円})\} \times 40\% = 2,000 \text{ 千円}$

②(a) 未達取引の処理

（ 棚 卸 資 産 ）	960	（ 仕 入 債 務 ）	960
-------------	-----	-------------	-----

(b) 内部取引の相殺消去

（ 売 上 高 ）	5,400	（ 売 上 原 価 ）	5,400
-----------	-------	-------------	-------

③ 棚卸資産の未実現利益の消去

(a) 期首分

（利益剰余金当期首残高）	350	（ 売 上 原 価 ）	350 ^{*1}
（ 少 数 株 主 損 益 ）	140 ^{*2}	（利益剰余金当期首残高）	140
（少数株主持分当期首残高）	140	（少数株主持分当期変動額）	140

*1 $2,100 \text{ 千円} \times \frac{0.2}{1.2} = 350 \text{ 千円}$ *2 $350 \text{ 千円} \times 40\% = 140 \text{ 千円}$

(b) 期末分

（ 売 上 原 価 ）	660	（ 棚 卸 資 産 ）	660 ^{*1}
（少数株主持分当期変動額）	264 ^{*2}	（ 少 数 株 主 損 益 ）	264

*1 $(3,000 \text{ 千円} + 960 \text{ 千円}) \times \frac{0.2}{1.2} = 660 \text{ 千円}$

$$*2 \quad 660 \text{ 千円} \times 40\% = 264 \text{ 千円}$$

④ 貸倒引当金の修正

(a) 前期末分

(売 上 債 権)	40 ^{*1}	(利益剰余金当期首残高)	40
(利益剰余金当期首残高)	16 ^{*2}	(少数株主持分当期首残高)	16

$$*1 \quad 1,960 \text{ 千円} \div (1 - 0.02) = 2,000 \text{ 千円}$$

$$2,000 \text{ 千円} - 1,960 \text{ 千円} = 40 \text{ 千円 (貸倒引当金相当額)}$$

$$*2 \quad 40 \text{ 千円} \times 40\% = 16 \text{ 千円}$$

(b) 当期末分

(i) 債権・債務の相殺消去

(仕 入 債 務)	3,500 [*]	(売 上 債 権)	3,500
-------------	--------------------	-------------	-------

$$* \quad 3,430 \text{ 千円} \div (1 - 0.02) = 3,500 \text{ 千円}$$

(ii) 未実現利益

(売 上 債 権)	30 ^{*1}	(貸 倒 引 当 金 繰 入)	30
(少 数 株 主 損 益)	12	(少数株主持分当期変動額)	12 ^{*2}

$$*1 \quad 3,500 \text{ 千円} - 3,430 \text{ 千円} = 70 \text{ 千円 (当期末貸倒見積額)}$$

$$70 \text{ 千円} - 40 \text{ 千円} = 30 \text{ 千円}$$

$$*2 \quad 30 \text{ 千円} \times 40\% = 12 \text{ 千円}$$

⑤ その他有価証券

(そ の 他 有 価 証 券)	5,000	(その他有価証券評価差額金)	5,000 [*]
(その他有価証券評価差額金)	2,000 [*]	(そ の 他 有 価 証 券)	2,000

$$* \quad D \text{ 社株式} : 25,000 \text{ 千円} - 20,000 \text{ 千円} = 5,000 \text{ 千円 (評価差額)}$$

$$E \text{ 社株式} : 19,000 \text{ 千円} - 21,000 \text{ 千円} = \Delta 2,000 \text{ 千円 (評価差額)}$$

⑥ のれん償却

(の れ ん 償 却 額)	340	(の れ ん)	340 [*]
-----------------	-----	-----------	------------------

$$* \quad 3,400 \text{ 千円} \div 10 \text{ 年} = 340 \text{ 千円}$$

2. 資料Ⅱについて

(1) 投資と資本の相殺消去

① 土地の評価替え

(有 形 固 定 資 産)	500	(評 価 差 額)	500
-----------------	-----	-------------	-----

② 投資と資本の相殺消去

(資 本金 当 期 首 残 高)	20,000	(B 社 株 式)	21,000 ^{*1}
(利益剰余金当期首残高)	3,000	(少数株主持分当期首残高)	7,050 ^{*2}
(評 価 差 額)	500		
(の れ ん)	4,550 ^{*3}		

$$*1 \quad \text{問題文より}$$

$$*2 \quad (20,000 \text{ 千円} + 3,000 \text{ 千円} + 500 \text{ 千円}) \times 30\% = 7,050 \text{ 千円}$$

$$*3 \quad 21,000 \text{ 千円} - (20,000 \text{ 千円} + 3,000 \text{ 千円} + 500 \text{ 千円}) \times 70\% = 4,550 \text{ 千円}$$

(2) 当期の仕訳

① 当期純利益の少数株主持分への振り替え

(少 数 株 主 損 益)	1, 290	(少数株主持分当期変動額)	1, 290 *
* (7, 300 千円－3, 000 千円) × 30% = 1, 290 千円			

② のれん償却

(の れ ん 償 却 額)	455	(の れ ん)	455 *
* 4, 550 千円 ÷ 10 年 = 455 千円			

③ B 社株式 10%売却時

(B 社 株 式)	3, 000 * ¹	(少数株主持分当期変動額)	2, 780 * ²
(B 社 株 式 売 却 益)	365 * ⁴	(の れ ん)	585 * ³

$$*1 \quad 21, 000 \text{ 千円} \times \frac{10\%}{70\%} = 3, 000 \text{ 千円}$$

$$*2 \quad (20, 000 \text{ 千円} + 7, 300 \text{ 千円} + 500 \text{ 千円}) \times 10\% = 2, 780 \text{ 千円}$$

$$*3 \quad (4, 550 \text{ 千円} - 455 \text{ 千円}) \times \frac{10\%}{70\%} = 585 \text{ 千円}$$

$$*4 \quad \begin{array}{l} \text{個別財務諸表上 売却価額 } 3, 600 \text{ 千円} - \text{売却原価 } 3, 000 \text{ 千円} = 600 \text{ 千円 (売却益)} \\ \text{連結財務諸表上 売却価額 } 3, 600 \text{ 千円} - \text{売却原価 (2, 780 千円} + 585 \text{ 千円)} = 235 \text{ 千円 (売却益)} \\ \text{したがって、売却益の修正を行う。} 600 \text{ 千円} - 235 \text{ 千円} = 365 \text{ 千円 (売却益の減少修正)} \end{array}$$

3. 資料Ⅲに関して

在外子会社等の財務諸表項目の換算である。

(1) C 社株式 : 700 千ドル × 75 円/ドル = 52, 500 千円

(資本金の金額でもある。ただし、連結貸借対照表上は相殺消去する)

(2) その他の財務諸表項目の換算

貸 借 対 照 表

	千ドル	レート	円貨額		千ドル	レート	円貨額
現 金 預 金	160	80 (CR)	12, 800	仕 入 債 務	30	80 (CR)	2, 400
売 上 債 権	20	80 (CR)	1, 600	借 入 金	100	80 (CR)	8, 000
棚 卸 資 産	90	80 (CR)	7, 200	資 本 金	700	75 (HR)	52, 500
有 形 固 定 資 産	610	80 (CR)	48, 800	利 益 剰 余 金	50	78 (AR)	3, 900
				為替換算調整勘定			3, 600
	880		70, 400		880		70, 400

4. その他の包括利益に関して

その他有価証券評価差額金

$$(\text{当期首}) \text{ D 社株式 } 22, 000 \text{ 千円} - 20, 000 \text{ 千円} = 2, 000 \text{ 千円}$$

$$\text{E 社株式 } 20, 000 \text{ 千円} - 21, 000 \text{ 千円} = \underline{\triangle 1, 000 \text{ 千円}}$$

$$\underline{1, 000 \text{ 千円}}$$

(当期末) 解説 1. (2)⑤より

$$\text{D 社株式 } 5, 000 \text{ 千円} + \text{E 社株式 } \triangle 2, 000 \text{ 千円} = 3, 000 \text{ 千円}$$

よって、当期末 3, 000 千円－当期首 1, 000 千円 = 2, 000 千円

為替換算調整勘定 上記 3. (2)より 3, 600 千円

したがって、X2 年度におけるその他の包括利益は、2, 000 千円 + 3, 600 千円 = 5, 600 千円

〈会計学〉

第 1 問

1. 「企業会計原則」第一・二参照
2. 「企業会計原則注解」【注 16】参照
3. 「連結キャッシュ・フロー計算書等の作成基準」第三・一参照

第 2 問(単位：千円)

1. 区分法

(1) X1 年 4 月 1 日

(現 金 預 金)	200,000	(社 債)	194,000 ^{*1}
		(新 株 予 約 権)	6,000 ^{*2}

$$*1 \quad 200,000 \text{ 千円} \times \frac{\text{@97円}}{\text{@100円}} = 194,000 \text{ 千円}$$

$$*2 \quad 200,000 \text{ 千円} \times \frac{\text{@3円}}{\text{@100円}} = 6,000 \text{ 千円}$$

(2) X1 年 9 月 30 日

(社 債 利 息)	2,000	(現 金 預 金)	2,000 [*]
-------------	-------	-------------	--------------------

$$* \quad 200,000 \text{ 千円} \times 2\% \times \frac{6 \text{ カ月}}{12 \text{ カ月}} = 2,000 \text{ 千円}$$

(3) X2 年 3 月 31 日

① 社債利息の支払い

(社 債 利 息)	2,000	(現 金 預 金)	2,000
-------------	-------	-------------	-------

② 償却原価法の処理

(社 債 利 息)	1,200	(社 債)	1,200 [*]
-------------	-------	---------	--------------------

$$* \quad (200,000 \text{ 千円} - 194,000 \text{ 千円}) \div 5 \text{ 年} = 1,200 \text{ 千円}$$

上記より、X2 年 3 月 31 日における社債利息：2,000 千円 + 1,200 千円 = 3,200 千円

(4) X2 年 9 月 30 日

(社 債 利 息)	2,000	(現 金 預 金)	2,000
-------------	-------	-------------	-------

(5) X3 年 3 月 31 日

① 社債利息の支払い

(社 債 利 息)	2,000	(現 金 預 金)	2,000
-------------	-------	-------------	-------

② 償却原価法の処理

(社 債 利 息)	1,200	(社 債)	1,200
-------------	-------	---------	-------

③ 新株予約権の権利行使

(社 債)	117,840 ^{*1}	(資 本 金)	60,720 ^{*3}
(新 株 予 約 権)	3,600 ^{*2}	(資 本 準 備 金)	60,720 ^{*3}

$$*1 \quad 194,000 \text{ 千円} + 1,200 \text{ 千円} + 1,200 \text{ 千円} = 196,400 \text{ 千円}$$

$$196,400 \text{ 千円} \times 60\% = 117,840 \text{ 千円}$$

$$*2 \quad 6,000 \text{ 千円} \times 60\% = 3,600 \text{ 千円}$$

$$*3 \quad (117,840 \text{ 千円} + 3,600 \text{ 千円}) \times 1/2 = 60,720 \text{ 千円}$$

(6) X3 年 9 月 30 日

(社 債 利 息)	2,000	(現 金 預 金)	2,000
-------------	-------	-------------	-------

(7) X4 年 3 月 31 日

① 社債利息の支払い

(社 債 利 息)	2,000	(現 金 預 金)	2,000
-------------	-------	-------------	-------

② 償却原価法の処理

(社 債 利 息)	1,200	(社 債)	1,200
-------------	-------	---------	-------

(8) X4 年 9 月 30 日

(社 債 利 息)	2,000	(現 金 預 金)	2,000
-------------	-------	-------------	-------

(9) X5 年 3 月 31 日

① 社債利息の支払い

(社 債 利 息)	2,000	(現 金 預 金)	2,000
-------------	-------	-------------	-------

② 償却原価法の処理

(社 債 利 息)	1,200	(社 債)	1,200
-------------	-------	---------	-------

(10) X5 年 9 月 30 日

(社 債 利 息)	2,000	(現 金 預 金)	2,000
-------------	-------	-------------	-------

(11) X6 年 3 月 31 日

① 社債利息の支払い

(社 債 利 息)	2,000	(現 金 預 金)	2,000
-------------	-------	-------------	-------

② 償却原価法の処理

(社 債 利 息)	1,200	(社 債)	1,200
-------------	-------	---------	-------

③ 社債の償還

(社 債)	200,000	(現 金 預 金)	200,000
---------	---------	-------------	---------

④ 新株予約権の戻入益

(新 株 予 約 権)	2,400	(新株予約権戻入益)	2,400*
---------------	-------	--------------	--------

* 6,000 千円×40%=2,400 千円

残りの新株予約権を行使しなかった分については、新株予約権戻入益として処理する。

⑤ 残りの新株予約権の権利行使をした場合

(社 債)	80,000 ^{*1}	(自 己 株 式)	60,000
(新 株 予 約 権)	2,400 ^{*2}	(自己株式処分差益)	22,400 ^{*3}

*1 200,000 千円×40%=80,000 千円

*2 6,000 千円×40%=2,400 千円

*3 (80,000 千円+2,400 千円)－60,000 千円=22,400 千円(自己株式処分差益)

自己株式処分差益は、その他資本剰余金の区分に表示する。

2. 一活法

(1) X1 年 4 月 1 日

(現 金 預 金)	200,000	(社 債)	200,000
-------------	---------	---------	---------

(2) X1 年 9 月 30 日

(社 債 利 息)	2,000	(現 金 預 金)	2,000 *
-------------	-------	-------------	---------

$$* 200,000 \text{ 千円} \times 2\% \times \frac{6 \text{ カ月}}{12 \text{ カ月}} = 2,000 \text{ 千円}$$

(3) X2 年 3 月 31 日

(社 債 利 息)	2,000	(現 金 預 金)	2,000
-------------	-------	-------------	-------

上記より、X2 年 3 月 31 日における社債利息：2,000 千円

(4) X2 年 9 月 30 日

(社 債 利 息)	2,000	(現 金 預 金)	2,000
-------------	-------	-------------	-------

(5) X3 年 3 月 31 日

① 社債利息の支払い

(社 債 利 息)	2,000	(現 金 預 金)	2,000
-------------	-------	-------------	-------

② 新株予約権の権利行使

(社 債)	120,000 * ¹	(資 本 金)	60,000 * ²
		(資 本 準 備 金)	60,000 * ²

$$*1 \quad 200,000 \text{ 千円} \times 60\% = 120,000 \text{ 千円}$$

$$*2 \quad 120,000 \text{ 千円} \times 1/2 = 60,000 \text{ 千円}$$

③ 残額の社債償還

(社 債)	80,000 *	(現 金 預 金)	80,000
---------	----------	-------------	--------

$$* \quad 200,000 \text{ 千円} - 120,000 \text{ 千円} = 80,000 \text{ 千円}$$

第 3 問

1. 企業評価額の算定

A 社：純資産法 3,000,000 千円－1,300,000 千円＝1,700,000 千円

収益還元価値法：1,700,000 千円×4%÷5%＝1,360,000 千円

純資産法と収益還元価値法の折衷法：(1,700,000 千円＋1,360,000 千円)÷2＝1,530,000 千円

B 社：純資産法 (500,000 千円＋6,000 千円＋20,000 千円)－300,000 千円＝226,000 千円

収益還元価値法：226,000 千円×6%÷5%＝271,200 千円

純資産法と収益還元価値法の折衷法：(226,000 千円＋271,200 千円)÷2＝248,600 千円

2. 1 株当たり企業評価額

A 社：1,530,000 千円÷10,000 千株＝@153 円

B 社：248,600 千円÷2,000 千株＝@124.3 円

3. A 社株式の 1 株当たりの B 社株式交換比率

$$\frac{\text{@124.3 円}}{\text{@153 円}} = 0.812 \dots \rightarrow 0.81 \text{ 株 (小数点第 3 位を四捨五入)}$$

4. A 社の新株発行に伴う資本金の増加額

交付株式数：2,000 千株×0.81 株＝1,620 千株

資本金の増加額：@160 円×1,620 千株＝259,200 千円

5. のれん計上額(仕訳の単位：千円)

(諸	資	産)	526,000 ^{*1}	(諸	負	債)	300,000
(の	れ	ん)	33,200 ^{*3}	(資	本	金)	259,200 ^{*2}

*1 $500,000 \text{ 千円} + (36,000 \text{ 千円} - 30,000 \text{ 千円}) + (40,000 \text{ 千円} - 20,000 \text{ 千円}) = 526,000 \text{ 千円}$

*2 上記 4. より

*3 取得原価：増加する資本金 259,200 千円

配分された純額： $526,000 \text{ 千円} - 300,000 \text{ 千円} = 226,000 \text{ 千円}$

のれん： $259,200 \text{ 千円} - 226,000 \text{ 千円} = 33,200 \text{ 千円}$

〈工業簿記〉

問 1

＜ケース加工部門＞

ケース用金属消費額

$$\text{ケース A : } (@800 \text{ 円} \times 6,430\text{kg}) \times \frac{1\text{kg} \times 2,000\text{個}}{1\text{kg} \times 2,000\text{個} + 1.2\text{kg} \times 2,000\text{個} + 2\text{kg} \times 1,000\text{個}} = 1,607,500 \text{ 円}$$

$$\text{ケース B : } (@800 \text{ 円} \times 6,430\text{kg}) \times \frac{1.2\text{kg} \times 2,000\text{個}}{1\text{kg} \times 2,000\text{個} + 1.2\text{kg} \times 2,000\text{個} + 2\text{kg} \times 1,000\text{個}} = 1,929,000 \text{ 円}$$

$$\text{ケース C : } (@800 \text{ 円} \times 6,430\text{kg}) \times \frac{2\text{kg} \times 1,000\text{個}}{1\text{kg} \times 2,000\text{個} + 1.2\text{kg} \times 2,000\text{個} + 2\text{kg} \times 1,000\text{個}} = 1,607,500 \text{ 円}$$

消費額合計：5,144,000 円

月末有高：@800 円 $\times (6,500\text{kg} - 6,430\text{kg}) = 56,000 \text{ 円}$

塗料消費額

$$\text{ケース A : } (@500 \text{ 円} \times 1,020\text{ℓ}) \times \frac{0.1 \times 2,000\text{個}}{0.1 \times 2,000\text{個} + 0.2 \times 2,000\text{個} + 0.4 \times 1,000\text{個}} = 102,000 \text{ 円}$$

$$\text{ケース B : } (@500 \text{ 円} \times 1,020\text{ℓ}) \times \frac{0.2 \times 2,000\text{個}}{0.1 \times 2,000\text{個} + 0.2 \times 2,000\text{個} + 0.4 \times 1,000\text{個}} = 204,000 \text{ 円}$$

$$\text{ケース C : } (@500 \text{ 円} \times 1,020\text{ℓ}) \times \frac{0.4 \times 1,000\text{個}}{0.1 \times 2,000\text{個} + 0.2 \times 2,000\text{個} + 0.4 \times 1,000\text{個}} = 204,000 \text{ 円}$$

消費額合計：510,000 円

月末有高：@500 円 $\times (1,100\text{ℓ} - 1,020\text{ℓ}) = 40,000 \text{ 円}$

直接労務費消費額

ケース A：@2,000 円 $\times 410 \text{ 時間} = 820,000 \text{ 円}$ ケース B：@2,000 円 $\times 405 \text{ 時間} = 810,000 \text{ 円}$ ケース C：@2,000 円 $\times 406 \text{ 時間} = 812,000 \text{ 円}$

消費額合計：2,442,000 円

製造間接費消費額

$$\text{予定配賦率 : } \frac{78,000,000\text{円}}{15,600\text{時間}} = 5,000 \text{ 円/時間}$$

ケース A：@5,000 円 $\times 410 \text{ 時間} = 2,050,000 \text{ 円}$ ケース B：@5,000 円 $\times 405 \text{ 時間} = 2,025,000 \text{ 円}$ ケース C：@5,000 円 $\times 406 \text{ 時間} = 2,030,000 \text{ 円}$

消費額合計：6,105,000 円

製造原価合計

ケース A：1,607,500 円 + 102,000 円 + 820,000 円 + 2,050,000 円 = 4,579,500 円

ケース B：1,929,000 円 + 204,000 円 + 810,000 円 + 2,025,000 円 = 4,968,000 円

ケース C：1,607,500 円 + 204,000 円 + 812,000 円 + 2,030,000 円 = 4,653,500 円

完成品総合原価

$$\text{ケース A : } 4,579,500 \text{ 円} \times \frac{1,800\text{個}}{2,000\text{個}} = 4,121,550 \text{ 円}$$

ケース B：4,968,000 円

ケース C : 4,653,500 円

月末仕掛品原価

$$\text{ケース A : } 4,579,500 \text{ 円} \times \frac{200 \text{ 個}}{2,000 \text{ 個}} = 457,950 \text{ 円}$$

問 2

<組立部門>

共通部品消費額

$$\text{製品 A : } @300 \text{ 円} \times 4,806 \text{ 個} \times \frac{1 \times 1,800 \text{ 個} + 3 \text{ 個}}{(1 \times 1,800 \text{ 個} + 3 \text{ 個}) + (1 \times 2,000 \text{ 個} + 2 \text{ 個}) + (1 \times 1,000 \text{ 個} + 1 \text{ 個})} = 540,900 \text{ 円}$$

$$\text{製品 B : } \quad \quad \quad " \quad \quad \times \frac{1 \times 2,000 \text{ 個} + 2 \text{ 個}}{(1 \times 1,800 \text{ 個} + 3 \text{ 個}) + (1 \times 2,000 \text{ 個} + 2 \text{ 個}) + (1 \times 1,000 \text{ 個} + 1 \text{ 個})} = 600,600 \text{ 円}$$

$$\text{製品 C : } \quad \quad \quad " \quad \quad \times \frac{1 \times 1,000 \text{ 個} + 1 \text{ 個}}{(1 \times 1,800 \text{ 個} + 3 \text{ 個}) + (1 \times 2,000 \text{ 個} + 2 \text{ 個}) + (1 \times 1,000 \text{ 個} + 1 \text{ 個})} = 300,300 \text{ 円}$$

消費額合計 : 1,441,800 円

月末有高 : @300 円 $\times (5,020 \text{ 個} - 4,806 \text{ 個}) = 64,200 \text{ 円}$

買入部品消費額

製品 A : @120 円 $\times 3,604 \text{ 個} = 432,480 \text{ 円}$

製品 B : @130 円 $\times 4,005 \text{ 個} = 520,650 \text{ 円}$

製品 C : @140 円 $\times 4,003 \text{ 個} = 560,420 \text{ 円}$

消費額合計 : 1,513,550 円

月末有高

製品 A : @120 円 $\times (4,010 \text{ 個} - 3,604 \text{ 個}) = 48,720 \text{ 円}$

製品 B : @130 円 $\times (4,010 \text{ 個} - 4,005 \text{ 個}) = 650 \text{ 円}$

製品 C : @140 円 $\times (4,010 \text{ 個} - 4,003 \text{ 個}) = 980 \text{ 円}$

月末有高合計 : 50,350 円

配線用金属消費額

$$\text{製品 A : } @1,000 \text{ 円} \times 2,929 \text{ g} \times \frac{0.5 \times 1,800 \text{ 個}}{(0.5 \text{ g} \times 1,800 \text{ 個}) + (0.5 \text{ g} \times 2,000 \text{ 個}) + (1 \text{ g} \times 1,000 \text{ 個})} = 909,000 \text{ 円}$$

$$\text{製品 B : } \quad \quad \quad " \quad \quad \times \frac{0.5 \times 2,000 \text{ 個}}{(0.5 \text{ g} \times 1,800 \text{ 個}) + (0.5 \text{ g} \times 2,000 \text{ 個}) + (1 \text{ g} \times 1,000 \text{ 個})} = 1,010,000 \text{ 円}$$

$$\text{製品 C : } \quad \quad \quad " \quad \quad \times \frac{1 \times 1,000 \text{ 個}}{(0.5 \text{ g} \times 1,800 \text{ 個}) + (0.5 \text{ g} \times 2,000 \text{ 個}) + (1 \text{ g} \times 1,000 \text{ 個})} = 1,010,000 \text{ 円}$$

消費額合計 : 2,929,000 円

月末有高合計 : @1,000 円 $\times (3,200 \text{ g} - 2,929 \text{ g}) = 271,000 \text{ 円}$

梱包材消費額

$$\text{製品 A : } @500 \text{ 円} \times 4,800 \text{ セット} \times \frac{1 \times 1,800 \text{ 個}}{(1 \times 1,800 \text{ 個}) + (1 \times 2,000 \text{ 個}) + (1 \times 1,000 \text{ 個})} = 900,000 \text{ 円}$$

$$\text{製品 B : } \quad \quad \quad " \quad \quad \times \frac{1 \times 2,000 \text{ 個}}{(1 \times 1,800 \text{ 個}) + (1 \times 2,000 \text{ 個}) + (1 \times 1,000 \text{ 個})} = 1,000,000 \text{ 円}$$

$$\text{製品 C : } \quad \quad \quad \times \frac{1 \times 1,000 \text{個}}{(1 \times 1,800 \text{個}) + (1 \times 2,000 \text{個}) + (1 \times 1,000 \text{個})} = 500,000 \text{ 円}$$

消費額合計 : 2,400,000 円

月末有高合計 : @500 円 × (5,020 セット－4,800 セット) = 110,000 円

直接労務費消費額

製品 A : @2,200 円 × 510 時間 = 1,122,000 円

製品 B : @2,200 円 × 610 時間 = 1,342,000 円

製品 C : @2,200 円 × 605 時間 = 1,331,000 円

消費額合計 : 3,795,000 円

製造間接費消費額

$$\text{予定配賦率 : } \frac{48,000,000 \text{円}}{24,000 \text{時間}} = 2,000 \text{ 円/時間}$$

製品 A : @2,000 円 × 510 時間 = 1,020,000 円

製品 B : @2,000 円 × 610 時間 = 1,220,000 円

製品 C : @2,000 円 × 605 時間 = 1,210,000 円

消費額合計 : 3,450,000 円

製造原価合計 (= 完成品総合原価)

製品 A : 4,121,550 円 + 540,900 円 + 432,480 円 + 909,000 円 + 900,000 円 + 1,122,000 円 + 1,020,000 円
= 9,045,930 円

製品 B : 4,968,000 円 + 600,600 円 + 520,650 円 + 1,010,000 円 + 1,000,000 円 + 1,342,000 円 + 1,220,000 円
= 10,661,250 円

製品 C : 4,653,500 円 + 300,300 円 + 560,420 円 + 1,010,000 円 + 500,000 円 + 1,331,000 円 + 1,210,000 円
= 9,565,220 円

仕掛品勘定

仕		掛		品	
直接材料費				完成品	
ケース用金属	5,144,000 円			製品 A	9,045,930 円
塗料	510,000 円			製品 B	10,661,250 円
共通部品	1,441,800 円			製品 C	9,565,220 円
買入部品	1,513,550 円			月末仕掛品	
配線用金属	2,929,000 円			ケース A	457,950 円
梱包材	2,400,000 円				
直接労務費					
ケース加工部門	2,442,000 円				
組立部門	3,795,000 円				
製造間接費					
ケース加工部門	6,105,000 円				
組立部門	3,450,000 円				

問 3

製品 A 売上総利益：@10,000 円×1,800 個－ 9,045,930 円＝ 8,954,070 円

製品 B 売上総利益：@10,000 円×2,000 個－10,661,250 円＝ 9,338,750 円

製品 C 売上総利益：@22,000 円×1,000 個－ 9,565,220 円＝12,434,780 円

問 4 材料月末有高

ケース用金属 56,000 円＋塗料 40,000 円＋共通部品 64,200 円

＋買入部品 50,350 円＋配線用金属 271,000 円＋梱包材 110,000 円＝591,550 円

問 5

直接労務費：@2,200 円×5 時間＝11,000 円

製造間接費：@2,000 円×5 時間＝10,000 円

∴製品 B の売上原価が合計 21,000 円減少するため、売上総利益が 21,000 円増加する。

問 6

ケース C の製造間接費予定配賦額：@5,000 円×406 時間＝2,030,000 円

作業単位Ⅱの予算額：(78,000,000 円－54,600,000 円)×1/3＝7,800,000 円

作業単位Ⅱの予定配賦額： $\frac{7,800,000 \text{ 円}}{5,200 \text{ 時間}} \times 406 \text{ 時間} = 609,000 \text{ 円}$

∴ ケース C の製造間接費予定配賦額が 2,030,000 円から 609,000 円に 1,421,000 円減少するため、完成品総合原価も 1,421,000 円減少する。

<原価計算>

- ① 予算売上高 : 40,000 千円 + 24,000 千円 = 64,000 千円
 実績売上高 : 43,200 千円 + 24,354 千円 = 67,554 千円
 増加額 : 67,554 千円 - 64,000 千円 = 3,554 千円

- ② 実績データの変動売上原価を予定変動製造原価により計算する。

	<製品 X>	<製品 Y>	合 計
売 上 高	43,200	24,354	67,554
変動売上原価	22,500 ^{*1}	9,900 ^{*2}	32,400
変動販売費	4,500	198	4,698
貢 献 利 益	16,200	14,256	30,456

*1 20,000 千円 ÷ 80,000 個 = 0.25 千円/個
 0.25 千円/個 × 90,000 個 = 22,500 千円

*2 10,000 千円 ÷ 20,000 個 = 0.5 千円/個
 0.5 千円/個 × 19,800 個 = 9,900 千円

- ③ 製品別の予算貢献利益率

製品 X : 16,000 千円 ÷ 40,000 千円 = 0.4

製品 Y : 13,800 千円 ÷ 24,000 千円 = 0.575

- ④ 製品単位当たり変動製造原価

製品 X

予算 : 20,000,000 円 ÷ 80,000 個 = 250 円/個

実績 : 25,200,000 円 ÷ 90,000 個 = 280 円/個

製品 Y

予算 : 10,000,000 円 ÷ 20,000 個 = 500 円/個

実績 : 8,712,000 円 ÷ 19,800 個 = 440 円/個

- ⑦ 市場総需要量

製品 X

予算 : 80,000 個 ÷ 50% = 160,000 個

実績 : 90,000 個 ÷ 60% = 150,000 個

製品 Y

予算 : 20,000 個 ÷ 50% = 40,000 個

実績 : 19,800 個 ÷ 40% = 49,500 個

- ⑨ 市場総需要量差異

製品 X

0.5 千円	販売価格差異 △1,800 千円	市場占有率差異 3,000 千円	市場総需要量差異 △1,000 千円
0.48 千円			
0.3 千円			
	90,000 個	75,000 個	80,000 個

(実績販売量) (注) (予算販売量)

(注) 実際総需要量にもとづく予算販売量

実際総需要量 150,000 個 × 予算占有率 50% = 75,000 個

製品 Y

1.2 千円	販売価格差異 594 千円	市場占有率差異 △3,415.5 千円	市場総需要量差異 3,277.5 千円
1.23 千円			
0.51 千円			
	19,800 個 (実績販売量)	24,750 個 (注)	20,000 個 (予算販売量)

(注) 実際総需要量にもとづく予算販売量

実際総需要量 49,500 個 × 予算占有率 50% = 24,750 個

⑮ 売上高営業利益率

予算 : $16,600 \text{ 千円} \div (40,000 \text{ 千円} + 24,000 \text{ 千円}) \times 100 = 25.9\cdots\%$

実績 : $15,744 \text{ 千円} \div (43,200 \text{ 千円} + 24,354 \text{ 千円}) \times 100 = 23.3\cdots\%$

予算に対して実績は、2.6 ポイント下回っている。

⑯ 経営レバレッジ係数 = $\frac{\text{貢献利益}}{\text{営業利益}}$

予算 : $(16,000 \text{ 千円} + 13,800 \text{ 千円}) \div 16,600 \text{ 千円} = 1.79\cdots$

実績 : $(13,500 \text{ 千円} + 15,444 \text{ 千円}) \div 15,744 \text{ 千円} = 1.83\cdots$

予算に対して実績は、わずかに上がっている。